

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 庄内厚生館 児童養護施設 山家学園
------	-----------------------------

福祉サービス第三者評価結果

第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

第三者評価実施期日

平成25年2月20日、21日

事業者情報

名称：社会福祉法人 庄内厚生館 児童養護施設 山家学園	種別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 秋田 常雄	定員（利用人数） 35名
所在地：大分県由布市庄内町西長宝1783-1 TEL：097(582)0451	

総評

評価の高い点

ケアの連続性：入所による生活環境の激変を緩和する方法として、以前通学していた学校への校区外通学や習い事を継続させるなど、子どもに最適な環境を準備する姿勢がうかがわれます。

自立支援計画：支援計画の策定にあたり、具体的な項目ごとに基本的な生活習慣について、食事や生活習慣など116項目、社会性について、自制心や自主性など130項目にわたって、きめ細かい自立支援評価表に基づいた段階評価により、作成されています。

食育：食育の一環として野菜作りをとりいれ、旬の野菜は自給できるほどの量を畑や花壇で、子どもたちと無農薬栽培し、収穫しています。自分たちが栽培収穫した安全、安心な野菜を食べるという「食の大切さ」を実感できる支援をしています。

以前通っていた学校に継続して通学させる、習い事を継続させるなど、子ども一人ひとりの基本的欲求を把握し、職員と話し合うことで、できる限り尊重している。

施設内に児童会があり、子どもが主体的に行事の企画、運営にかかわれるようになっている。自分たちの生活についても、児童会で意見を交換して改善に反映させている。

自立支援計画策定のマニュアルがあり、効果表をチェックしながら自立支援計画を作成し、日々のケアにあたり、記録は「福祉の森のソフト」を利用し、記述は統一されており、明確である。

生活の中で受容的、支持的なかわりを職員が行い、きちんと話し合いを重ねる中で伝えるべきメッセージを伝えるよう努力している。基本的な日課の中で職員が子どもと一緒にやりたいことをできるような生活スタイルをとっており、自主性を表出させる努力をしている。

毎日、各館で反省会を実施しており、中高生男子の棟では、人前で自分の考えを話せるようになる目的でフリートークを行っている。また、児童会を開く中で、生活における問題や課題について、主体的に検討する機会を確保している。また、学力向上のための学習時間の設定や、家庭教師の利用など生活改善に向けての取り組みや生活日課を職員と子どもが共に考え、実施している。

刃物の施錠管理、階段のセンサー設置、女子洗濯場ドアの鈴の設置など、ヒヤリハットなどから収集したリスクに対応した防止策を実施している。また学校登校時の巡回、同行で児童の安全確保に努めている。

理念において、地域との関わり方の重要性を記載し、近隣の神社の掃除や野球グラウンドの清掃、空き缶拾いなどのボランティアを行っている。また、地域の春の祭典では、子ども神輿とお囃子で参加している。学校の友人たちも気軽に遊びに来れる環境づくりを行っている。

Do-CAPシートに基づき、主任がスーパーバイズを行っている。また、職員一人で問題を抱え込まないようにチームで検討し、主任、施設長へ常に相談できる体制を整えている。

「利用者本位の福祉を实践する」という理念の下、就学前の子どもから障がい児（者）お年寄りまで人生のライフステージをケアできる幅の広い福祉サービスを展開している。昨今の児童養護施設は、入所児の50～60%を被虐待児が占めるようになり、課題を抱えている子どもも多く、日々の支援が大変困難となっている。しかし、子どもの自立支援に法人の特性を活かし、障がい児（者）施設等の実習を通して、自己と対峙させるという貴重な体験をすることで成長を促している。

改善を求められる点

基本的な生活習慣の習得や確立に十分力を注がれているが、昼食をとるときなど、未就学児や在園児が少ないときは、職員と一緒に全員でテーブルを囲み、楽しく食べられる工夫を望む。

現状ではできるだけ紙媒体のアルバムを作成して手渡すことが望ましいと感じる。また要望がなくても、子どもの誕生日など、年に一回でもアルバムを見ながら成長の過程を振り返る機会をもつなどの工夫が求められる。

面会、外出等については、早期家庭復帰が望ましい子どもに対し、回数を増やすなど、児童相談所と協力して柔軟に対応できるようマニュアルを見直す工夫が望まれる。

子どもや保護者等からの情報開示の求めに対応した規程を整備することが望まれる。

パンフレットは、入所前の面接の際に施設を説明する資料として使うこともあり、子どもの視点にたつて日常生活や行事などの紹介、サービス内容が理解できるようわかりやすく作成することが望まれる。またホームページは不特定多数の人が見ることから、子どもや保護者の視点にたった言葉づかいや内容をわかりやすく作成し、児童養護施設そのものや施設での養育、支援が不安の解消につながるための工夫が望まれる。

園生活のルールや守るべきことや配慮すべきことについて、他の子どもたちと気持ちよく生活するために守ってほしいお願いごととして、わかりやすくプリントにまとめるなどの配慮が望まれる。

不審者に対応するマニュアル、強引な保護者の引き取りに関する対応手順などを整備することが望まれる。

今後、要保護児童対策地域協議会に参画する予定があり、関係機関とのネットワークづくりに期待する。

D o - C A Pシートを基に個人スキルをあげる教育、研修計画を策定することが望まれる

評価、分析された結果に基づき、D o - C A Pシートを活用し、研修内容の見直しを行うことが望まれる。

平成 23 年 7 月に「社会的養護の課題と将来像」が取りまとめられ、これに沿って、施設の小規模化、地域分散化や里親委託の推進など、施設養護から家庭的養護の推進へと変わりつつある。また平成 24 年 11 月には、「児童養護施設等の小規模化及び家庭的養護の推進について」が平成 27 年度を始期として平成 41 年度までを 3 期に分けて、段階的に定員を引き下げ、全ユニット化、地域分散化及び里親支援を実施する予定であり、山家学園は将来構想として小規模化の計画をもっていることから、具体的に明文化し、実施されることを期待する。

第三者評価結果に対する事業者のコメント

公表を受けて、より良いサービスを実施してまいります。

各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）

2 調査報告書

1 養育・支援

項目番号	項目	第三者評価結果
1-(1)	養育・支援の基本	
1-(1)-	子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止め、子どもを理解している。	Ⓐ・b・c
1-(1)-	基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	Ⓐ・b・c
1-(1)-	子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	Ⓐ・b・c
1-(1)-	発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	Ⓐ・b・c
1-(1)-	秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	Ⓐ・b・c
1-(2)	食生活	
1-(2)-	食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	a Ⓑ・c
1-(2)-	子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	Ⓐ・b・c
1-(2)-	子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a Ⓑ・c
1-(3)	衣生活	
1-(3)-	衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	Ⓐ・b・c
1-(3)-	子どもの衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a Ⓑ・c
1-(4)	住生活	
1-(4)-	居室等施設全体がきれいに整美されている。	Ⓐ・b・c
1-(4)-	子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	a Ⓑ・c
1-(5)	健康と安全	
1-(5)-	発達段階に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理ができるよう支援している。	a Ⓑ・c
1-(5)-	医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	Ⓐ・b・c
1-(6)	性に関する教育	
1-(6)-	子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	Ⓐ・b・c
1-(7)	自己領域の確保	
1-(7)-	でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a Ⓑ・c

1-(7)-	成長の記録(アルバム)が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
1-(8)	主体性、自律性を尊重した日常生活	
1-(8)-	日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
1-(8)-	主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
1-(8)-	子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
1-(9)	学習・進学支援、進路支援等	
1-(9)-	学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
1-(9)-	「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
1-(9)-	職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
1-(10)	行動上の問題及び問題状況への対応	
1-(10)-	子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
1-(10)-	施設内で子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
1-(10)-	虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
1-1-(11)	心理的ケア	
1-(11)-	心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
1-(12)	養育の継続性とアフターケア	
1-(12)-	措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
1-(12)-	家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
1-(12)-	できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
1-(12)-	子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c

2 家族への支援

項目番号	項目	第三者評価結果
2-(1)	家族とのつながり	
2-(1)-	児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
2-(1)-	子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
2-(2)	家族に対する支援	
2-(2)-	親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a <input checked="" type="radio"/> b · c

3 自立支援計画、記録

項目番号	項目	第三者評価結果
3-(1)	アセスメントの実施と自立支援計画の策定	
3-(1)-	子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	Ⓐ・b・c
3-(1)-	アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	Ⓐ・b・c
3-(1)-	自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	Ⓐ・b・c
3-(2)	子どもの養育・支援に関する適切な記録	
3-(2)-	子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	aⒷ・c
3-(2)-	子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	aⒷ・c
3-(2)-	子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	Ⓐ・b・c

4 権利擁護

項目番号	項目	第三者評価結果
4-(1)	子どもの尊重と最善の利益の考慮	
4-(1)-	子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	aⒷ・c
4-(1)-	社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	Ⓐ・b・c
4-(1)-	子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	Ⓐ・b・c
4-(1)-	子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
4-(1)-	子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	Ⓐ・b・c
4-(2)	子どもの意向への配慮	
4-(2)-	子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	Ⓐ・b・c
4-(2)-	職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	Ⓐ・b・c
4-(3)	入所時の説明等	
4-(3)-	子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	aⒷ・c
4-(3)-	入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	aⒷ・c
4-(3)-	子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受け止め、不安の解消を図っている。	Ⓐ・b・c
4-(4)	権利についての説明	

4-(4)-	子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
4-(5)	子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
4-(5)-	子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
4-(5)-	苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
4-(5)-	子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
4-(6)	被措置児童等虐待対応	
4-(6)-	いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
4-(6)-	子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
4-(6)-	被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
4-(7)	他者の尊重	
4-(7)-	様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c

5 事故防止と安全対策

項目番号	項目	第三者評価結果
5 -	事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a <input checked="" type="radio"/> b · c
5 -	災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
5 -	子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c

6 関係機関連携・地域支援

項目番号	項目	第三者評価結果
6-(1)	関係機関等の連携	
6-(1)-	施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	Ⓐ・b・c
6-(1)-	児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	a・Ⓑ・c
6-(1)-	幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	Ⓐ・b・c
6-(2)	地域との交流	
6-(2)-	子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	Ⓐ・b・c
6-(2)-	施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	a・Ⓑ・c
6-(2)-	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	Ⓐ・b・c
6-(3)	地域支援	
6-(3)-	地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	Ⓐ・b・c
6-(3)-	地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	Ⓐ・b・c

7 職員の資質向上

項目番号	項目	第三者評価結果
7-	組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・b・c
7-	職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a・Ⓑ・c
7-	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	a・Ⓑ・c
7-	スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	Ⓐ・b・c

8 施設の運営

項目番号	項目	第三者評価結果
8-(1)	運営理念、基本方針の確立と周知	
8-(1)-	法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a (b) · c
8-(1)-	法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	a (b) · c
8-(1)-	運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a (b) · c
8-(1)-	運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	(a) · b · c
8-(2)	中・長期的なビジョンと計画の策定	
8-(2)-	施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	a · b (c)
8-(2)-	各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	a (b) · c
8-(2)-	事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	(a) · b · c
8-(2)-	事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a (b) · c
8-(2)-	事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	(a) · b · c
8-(3)	施設長の責任とリーダーシップ	
8-(3)-	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	(a) · b · c
8-(3)-	施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	(a) · b · c
8-(3)-	施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a (b) · c
8-(3)-	施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a (b) · c
8-(4)	経営状況の把握	
8-(4)-	施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	(a) · b · c
8-(4)-	運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	(a) · b · c
8-(4)-	外部監査(外部の専門家による監査)を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	(a) · b · c
8-(5)	人事管理の体制整備	
8-(5)-	施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	a (b) · c
8-(5)-	客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	(a) · b · c
8-(5)-	職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	(a) · b · c
8-(5)-	職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	a (b) · c
8-(6)	実習生の受入れ	
8-(6)-	実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	a (b) · c
8-(7)	標準的な実施方法の確立	

8-(7)-	養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	a · <input checked="" type="radio"/> b · c
8-(7)-	標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを施設全体で実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	a · <input checked="" type="radio"/> b · c
8-(8)	評価と改善の取組	
8-(8)-	施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c
8-(8)-	評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	<input checked="" type="radio"/> a · b · c

該当する項目を記入し、具体的な取り組みについて記述する。

<p>【該当項目】</p> <p>「 1 1 (2) 1 」</p> <p>【特記項目】</p> <p>園の土地を活用し、職員と子どもたちと一緒に無農薬野菜を作っている。無農薬野菜は手入れが大変であるが、手をかければかけるほどおいしい野菜が育つため、子どもたちに野菜を育てる大変さとともに、無事収穫できたときの喜びと感謝の気持ちを芽生えさせ、野菜嫌いをなくすなど、食物の大切さを学ぶよい機会となっている。</p>
--